

高松市交通バリアフリー基本構想策定について



(株)オリエンタルコンサルタンツ 緒方 剛

目次

1．業務の概要 2

- (1) 背景、目的
- (2) 対象地域(重点整備地区)
- (3) 業務(基本構想策定)の主な流れ

2．市民参画 9

- (1) 実施項目と位置づけ
- (2) 具体的取り組み
- (3) 取り組みの成果

3．今後の課題 26

1. 業務の概要

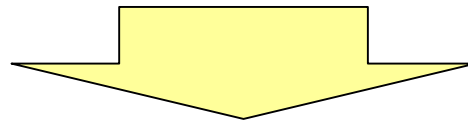
(1) 背景・目的

- ・高齡社会の到来、ノーマリゼーションの浸透

高齡化率：全国17.3%、香川県20.9%、高松市17.6%(H12国勢調査)

- ・高齡者・障害者の移動円滑化を望む声の高まり

- ・交通バリアフリー法の施行(H12.11)

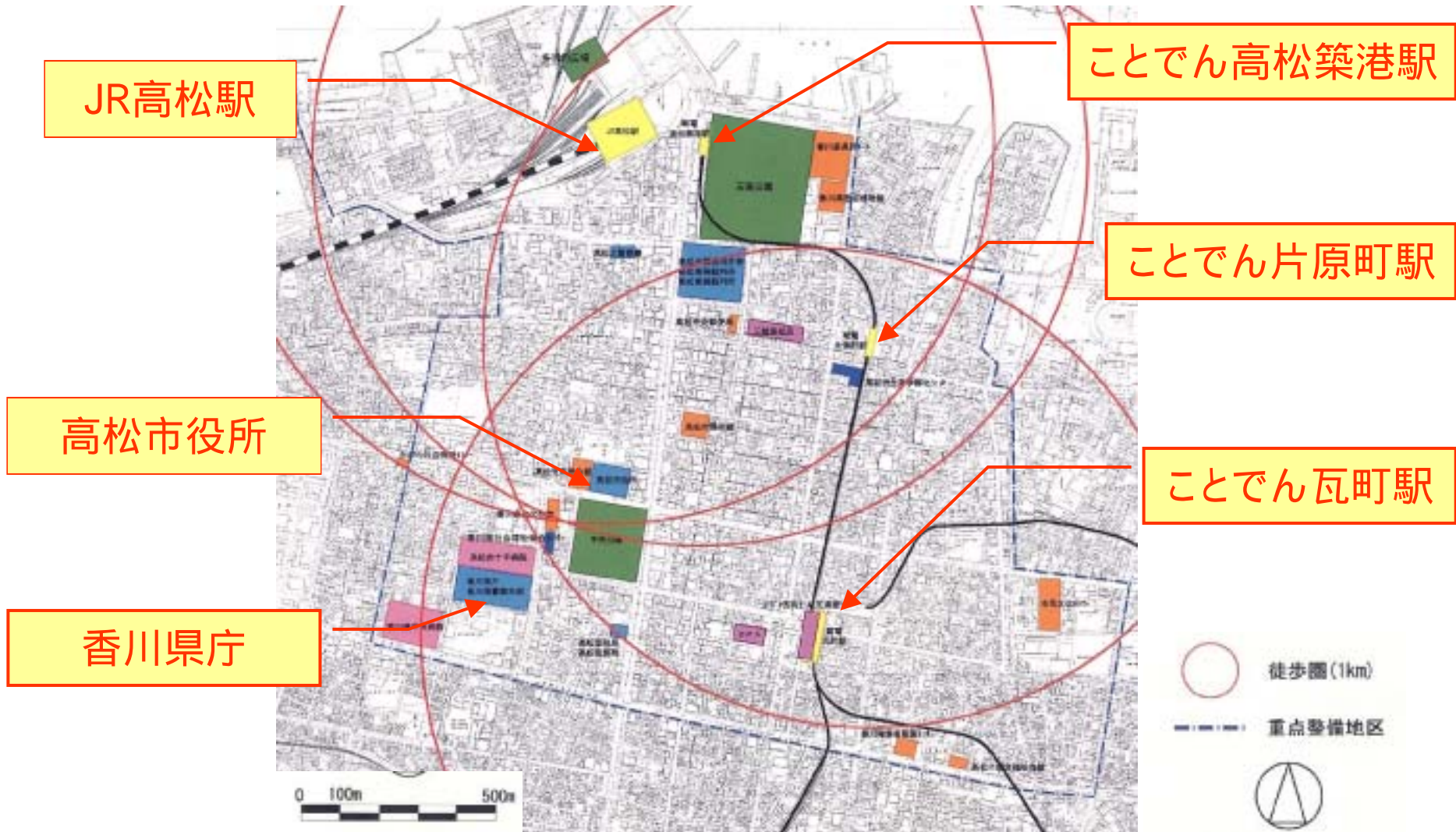


高松市交通バリアフリー基本構想の策定

1. 業務の概要

(2) 対象地域(重点整備地区)

JR高松駅、ことでん高松築港駅～瓦町駅等の周辺地域(約280ha)



1. 業務の概要

【JR高松駅の当時の状況】



フラットな床面、入口から続く誘導ブロック



幅広の改札



入口に設置された点字付案内板



高さが異なる券売機

1. 業務の概要

【ことでん高松築港駅、片原町駅、瓦町駅の当時の状況】



改札までの点字ブロック(高松築港駅)



ホームと線路の境界が不明確(高松築港駅)



券売機下に蹴込み無し(高松築港駅)



急勾配のスロープ(片原町駅)

1. 業務の概要

【ことでん高松築港駅、片原町駅、瓦町駅の当時の状況】



ホーム移動には線路の横断が必要(片原町駅)



階段、エレベーター、エスカレーターが近接(瓦町駅)

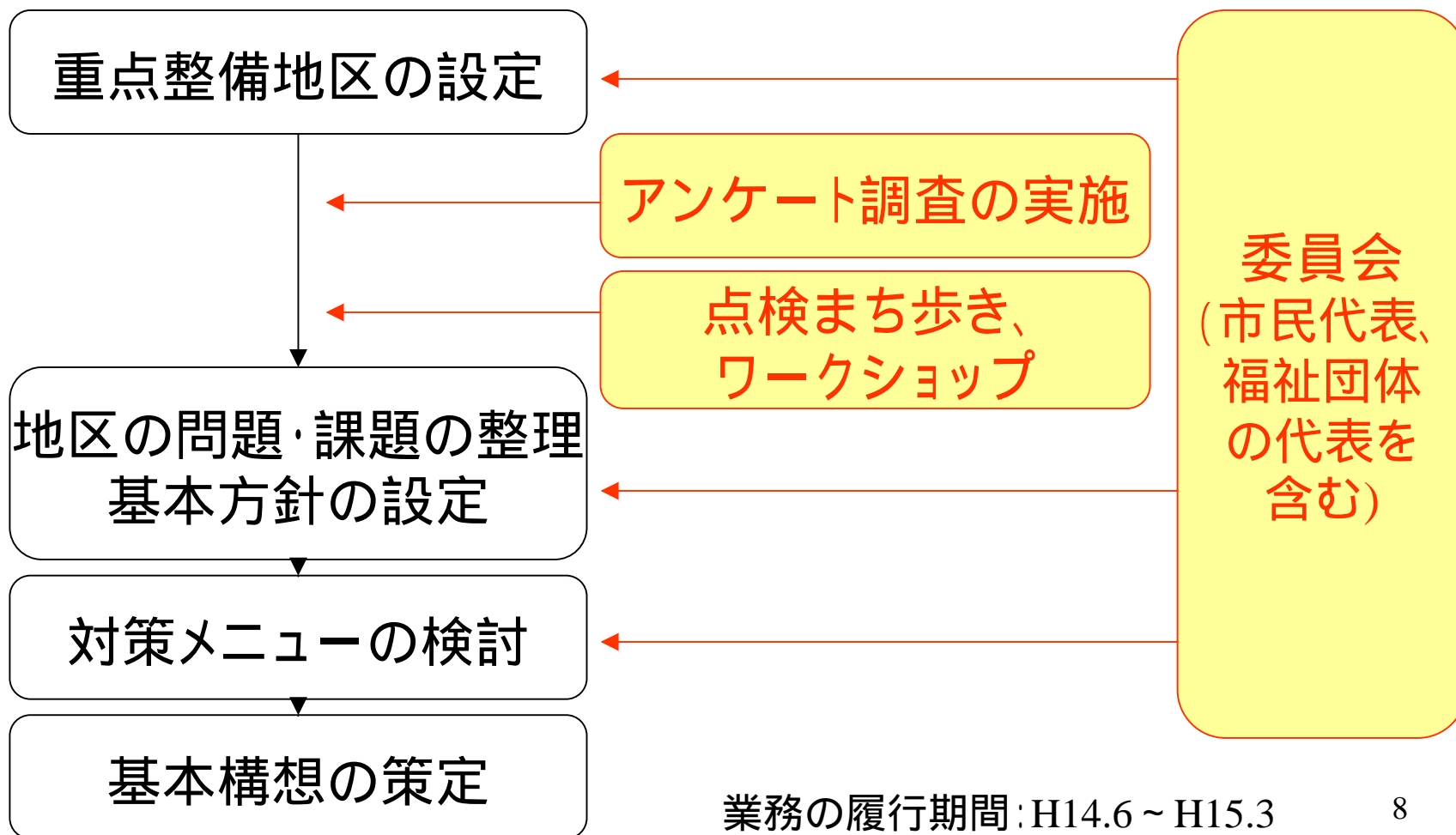


動く歩道が設置(瓦町駅)

1. 業務の概要

(3) 業務(基本構想策定)の主な流れ

基本構想策定までの各段階において市民参画の場を設定。



2. 市民参画

(1) 実施項目と位置づけ

アンケート調査の実施

- ・ ニーズを幅広く捉える。
- ・ 問題・課題整理、対策検討の基礎資料とする。

点検まち歩き、ワークショップの実施

- ・ 当事者、行政とのコミュニケーション、合意形成の場とする。
- ・ 問題・課題、対策案の具体化を行う。

市民代表及び市民団体代表の委員会参加

- ・ 意見を計画へ反映させる。

2. 市民参画

(2) 具体的取り組み

アンケート調査：調査方法

各種団体へ調査依頼 (H14.8.26～9.13 約3週間)

(財)高松身体障害者協会、高松ボランティア協会、高松市老人クラブ連合会、高松市婦人団体連絡協議会へ調査票を送り、協力をお願いした。

主要施設で聞き取り調査(H14.9.4(水))

旅客施設(JR高松駅、ことடன்高松築港駅～片原町駅～瓦町駅)、官公庁(高松市役所、県庁)、病院(県立中央病院、高松赤十字病院)の利用者に対して、調査員が聞き取りによりアンケート調査を行った。

回答者の属性を幅広くすること、票数をより多く集めることを目的に、調査方法を2つに分けた。



アンケート調査：調査内容、調査結果

【主な調査内容】

- ・外出の頻度、目的等
- ・よく利用する施設と状況
- ・鉄道駅・主要施設の利用頻度
- ・よく利用する経路と状況
- ・事故の経験
- ・整備に対する要望
- ・属性

設問数：10数問、調査票：A3用紙2～3枚、回答時間：5～10分

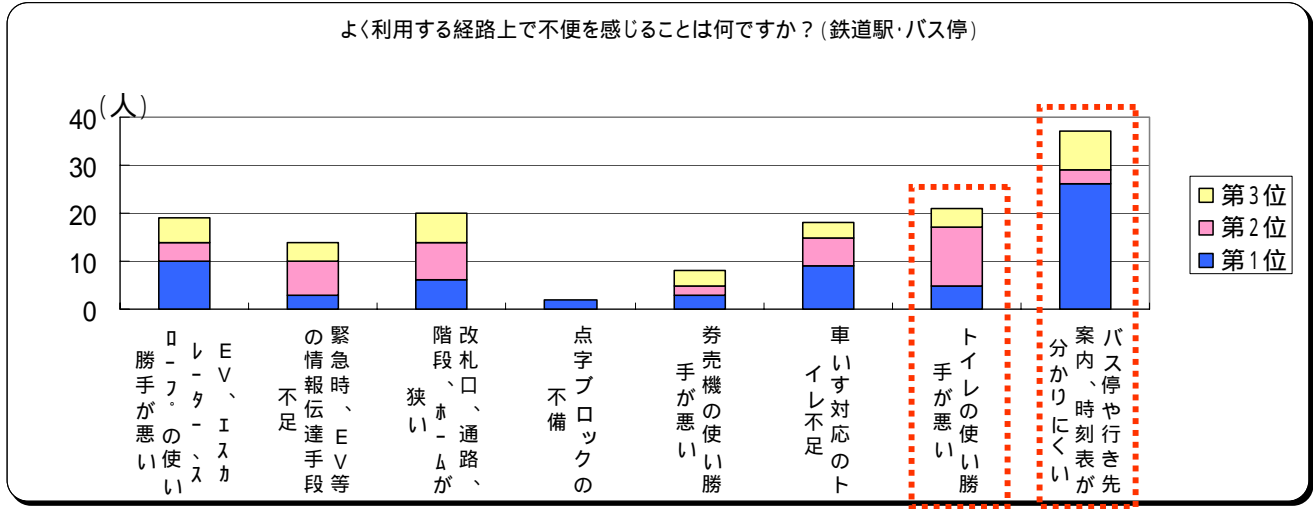
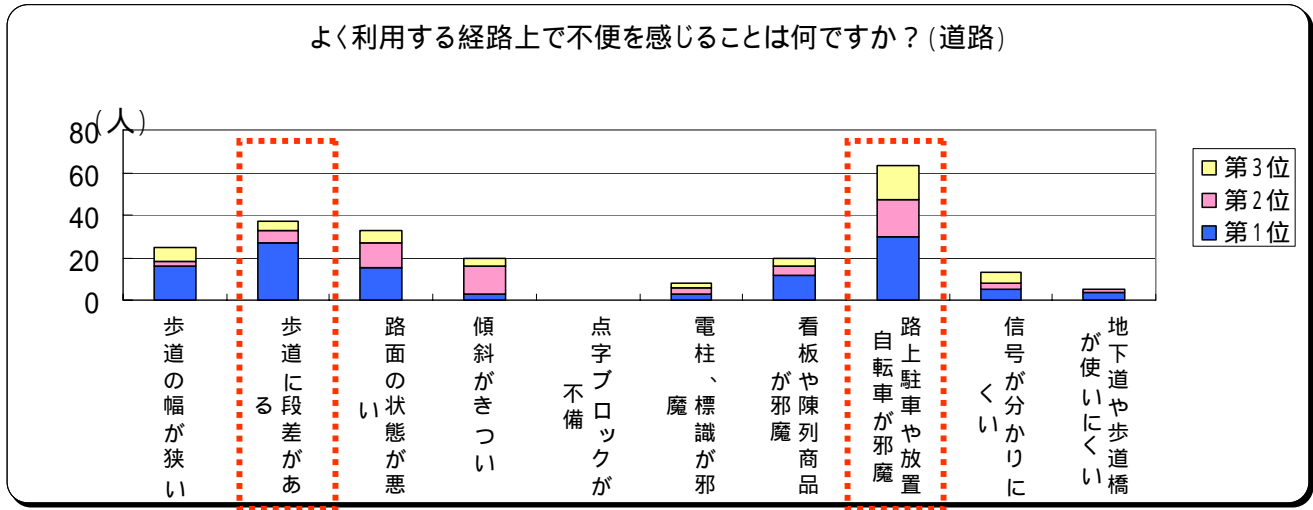
【調査結果】

調査依頼方式：282票（回収率37.6%）

聞き取り方式：141票（旅客施設82票：官公庁・病院：59票）

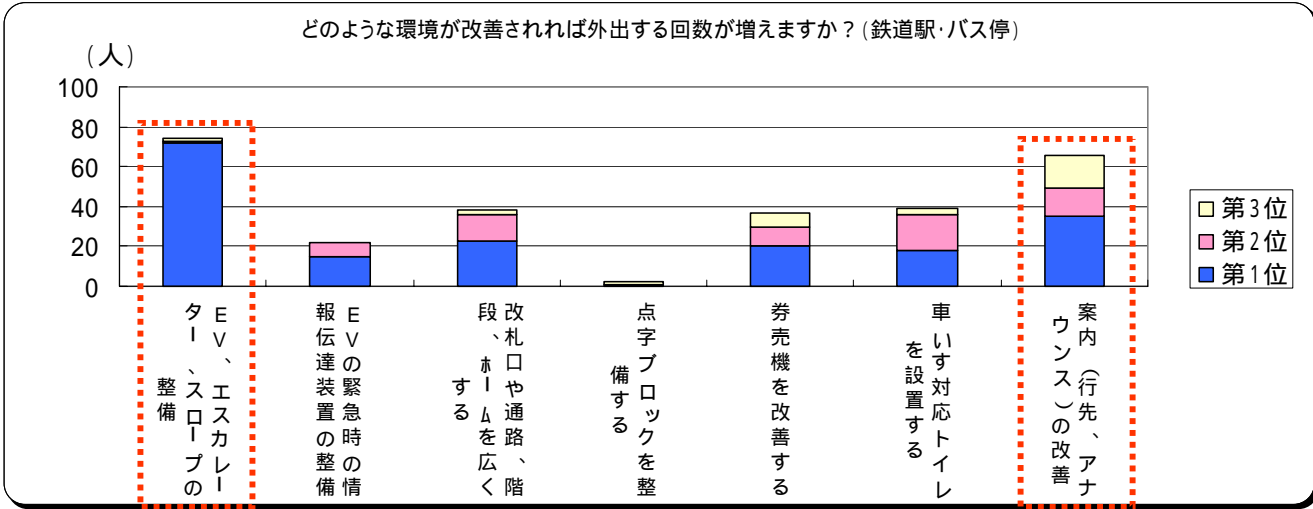
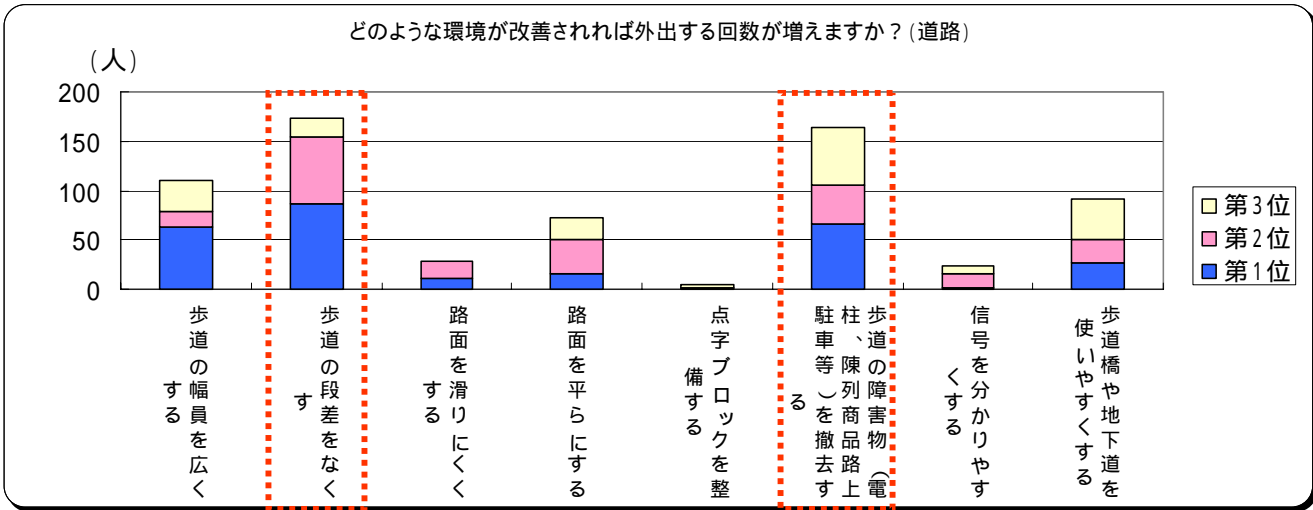
2. 市民参画

道路上の障害物(路上駐車等)、段差や、鉄道駅での行き先案内、トイレ使い勝手について不便を感じている人が多い。



2. 市民参画

道路上の段差改良、障害物(路上駐車等)撤去や、鉄道駅でのエレベーター等の整備、行き先案内の整備を望んでいる声が多い。



点検まち歩き・ワークショップ: 実施概要

日時: 平成14年10月9日(水)

- ・点検まち歩き 10:00～12:00
- ・ワークショップ 13:00～15:00

参加者:

- ・計54名(高齢者・障害者等21名、委員・事務局33名)

幅広い視点で点検を行いたく、高齢者、肢体不自由者、視覚障害者、聴覚障害者、介護者に参加して頂いた。(参加者の募集は各種団体(アンケート協力団体)の協力を得た)

2. 市民参画

点検まち歩き・ワークショップ:

【集合説明 10:00～10:25】



香川県民ホール集合

取り組みの主旨、当日の概要、
注意事項等を説明



2. 市民参画



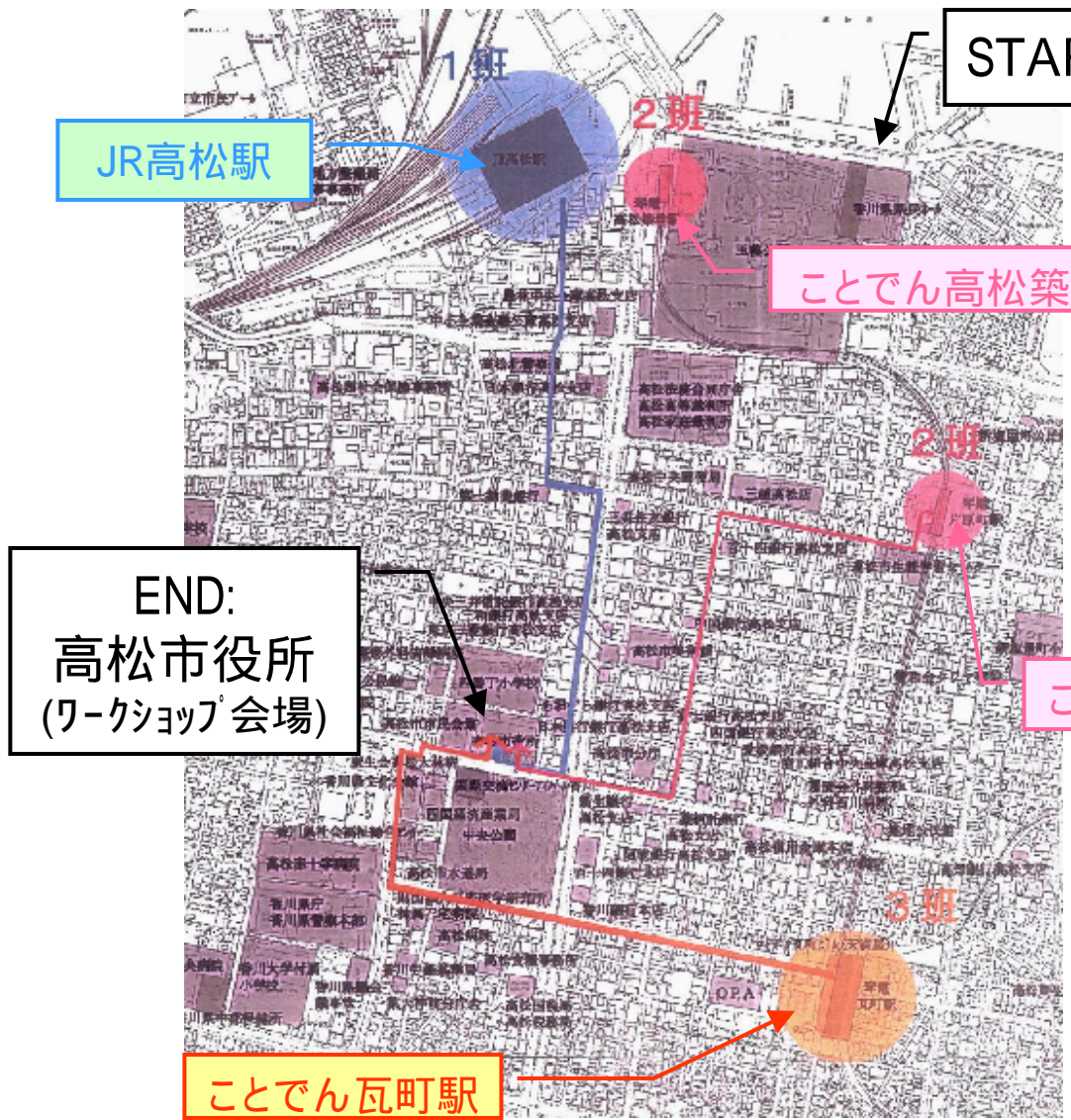
参加者用ネームプレートの配布

出発前、班毎に再度説明及び自己紹介



2. 市民参画

【点検まち歩き 10:25 ~ 12:00】



START: 県民ホール(集合説明会場)



3班に別れ、点検開始

ことでん片原町駅

- 1班:
- 2班:
- 3班:

2. 市民参画



マスコミが取材

乗車券の購入のしやすさの点検



気づいたことを記録



改札幅、列車への乗り込みの点検

記録シート

点検のポイント

■歩行空間チェックシート(2班)

2班 指導者 (記録者)

☆点検の視点

歩道	横断歩道	交差点
<ul style="list-style-type: none">歩道はあるか？必要ではないか？歩道と車道の区画はきつくないか？安全であるか？自転車・自動車との接触の危険はないか？、夜間照明はあるか？歩きやすいか？障害物、ほり、つまづきはないか？、幅・勾配は充分か？案内・誘導は充分であるか？(案内標識、誘導ブロック)排水設備はあるか？	<ul style="list-style-type: none">歩きやすいか？(勾配)、つまづきやまきはないか？安全であるか？(横断歩道では、途中で横断スペース・无交通流)があるか？信号の機能は充分か？(見やすい、番号付き、充分な青時間)歩道橋は必要か？	<ul style="list-style-type: none">安全であるか？(自動車に接触を感じないか？)歩きやすいか？(勾配)、つまづきやまきはないか？位置存在は充分か？見やすいか？信号は必要か？

点検コース上の気づいたことを書き込む

2. 市民参画

【点検まち歩き 10:25 ~ 12:00】



歩道の歩きやすさを点検

アーケードの歩きやすさを点検



2. 市民参画



歩道 車道の歩きやすさを点検

高松市役所に集合



2. 市民参画

【点検結果のまとめ・発表 13:00 ~ 15:00】



上記は清書。当日は付箋への書き込み、シールの貼り付け

2. 市民参画



発表内容は手話により
同時通訳



各班のまとめを発表

2. 市民参画

市民代表及び市民団体代表の委員会参加

- ・ 委員会は全3回開催
- ・ 市民団体代表、市民代表も参加
(市民代表には肢体不自由者も含まれる)



委員の区分	役職名等
学識経験者	香川大学工学部教授
	明善短期大学教授
公共交通事業者	四国旅客鉄道株経営企画部担当課長
	高松琴平電気鉄道株電車部長
	(社)香川県バス協会専務理事
福祉団体等代表	(財)高松市身体障害者協会会長
	高松ボランティア協会会長
	高松市老人クラブ連合会理事・女性部長
	高松市社会福祉協議会介護保険指定事務所長
市民代表	高松中央商店街振興組合連合会副理事長
	高松市婦人団体連絡協議会事務局長
	ピアネットワーク香川交通アクセスを考える会代表
	香川大学工学部研究生
関係行政機関	国土交通省四国地方整備局道路部道路管理課長
	国土交通省四国地方整備局香川工事事務所長
	国土交通省四国地方整備局高松港湾空港工事事務所長
	国土交通省四国運輸局交通環境部消費者行政課長
	香川県政策部交通政策課長
	香川県土木部道路保全課長
	香川県土木部都市計画課長
	香川県高松土木事務所長
	香川県サポート高松推進局施設整備課長
	香川県警察本部交通規制課長
	香川県高松北警察署交通官
	高松市土木部次長

(3) 取り組みの成果

【計画策定上の成果】

- ・多くの当事者(高齢者・障害者)に参加して頂くことで、**多様な意見を抽出**できた。
- ・当事者が計画策定に関わることで、より**利用者・使用者の視点を重視した検討**が行われた。

【その他の成果】

- ・当事者と現場を共有することで、移動しやすさについて新たに**“気づく”**ことがあった。
- ・当事者と健常者が同じテーマを一緒に考え、意見交換することで、**信頼関係**が築かれた。

3. 今後の課題

- ・1回のワークショップであったため、意見聴取の場としては効果があったが、参加者間の合意形成の場となるにはもう少し**時間が必要**。
- ・多くの市民が参加し、また活発な意見交換ができるような**会議の企画・運営**が必要。
- ・ワークショップ等から計画に盛り込まれた内容は、**早期に結果を出す**こと(整備されること)が必要。
- ・住民と行政の信頼関係をより強くするためにも、今回の**“つながり”**を**継続**させることが必要。(設計・施工段階での市民参画など)